

加回が完結する

コンセプト

私達は、TVや映画・新聞・雑誌・インターネット・音楽・ゲームなど大量の情報の中で暮らしています。それは、事件や流行などを知る上でとても役に立つものです。しかし、それらからの情報はとても多く、私達は流れてくる情報の海と人々を喪失に陥って考え、疑問をもったり、考えたりすることなく、自分の考えの一つにしてしまうことが多くはないでしょうか？大量に流れてくる情報は、常識や道徳までも変えてしまおうか疑われているように思います。

そこで私達は、どうしたら大量の情報の中でたゞ喪失に陥るのではなく、自分の考えを持つようになるだろうかということを探求しました。

情報に対して疑問を持つという習慣がないのは、小さい頃から目にするまやピエオの海と人々が～そのまゝ結果へと導かれる～ というものばかりで、その内容に納得するという習慣がついているからではないでしょうか？

そこで、幼い頃から考える習慣をつけることが大切だと考え、そのために子供がじく見ることが出来る「結果」に注目しました。たゞ結果へと導くのではなく、想像したり予想したりする思考

つまり「考える力を育てる結果」をデザインしました。



報道に対して受身になっていることの例



報道されたもの…映像やコメントに対して疑問を持つことなく受け入れる

映画やTVドラマで描かれた様々な思想をそのまま受け入れる



ゲームや音楽など考える前に繰り返し聴くことによって影響される

このように自分の価値観や考えを持つ前に聴かされてくる情報を受け入れ影響される人は少なくはないと思います



ただ、見る・聞くだけでなく自分の考えを持つように心がけては？

※ 何かを考える習慣をつけることが重要だ！

絵本がよいのでは???

絵本は状況によって、時間をかけてゆっくり見ることができ、どの様にいろいろな視点をすることが出来るから

絵本について調べてみると...

- 絵本が子供に大きく影響する
- 子供は絵本の細部から色々な事を読み取る
- 絵本を親が読み聞かせることが大切
(視覚は絵から、聴覚は親の声によって強く刺激を受ける)

以上の事を参考に私達は独自の絵本をデザインしました

■ 私たちが提案する「考える力を育てる絵本」

- ★文字はない
- ★絵本が短い絵本
- ★見開き2ページからなる1枚の絵の表
- ★細部から様々な事が読み取れる
- ★親子で話しながらか楽しみめる
(親のために裏表紙に簡単な絵本の使い方記載)

■ 親に理解してもらえるように、裏表紙に次のように記載します

お父さん

お父さんのお子さん、「考える」という力を身につけたいと思いませんか？この絵本はお父さんが見ると、想像して自分の力で想像の世界を遊べるというものです。

また、親子で対話することで親子の絆を、絵本に想像をもつ親子の想像力を育てることも、楽しい時間を過ごすことができるでしょう。

さらに、親が読んであげることによってお母さんもお喜びを、親子の絆を育ててあげてくれます。

エピソードのないこの絵本をお子さん、「考える」という力を育ててあげてください。

お母さん

1歳半の子供に読む

お父さん、お母さんからお子さんに1つのお話を聞いてあげよう

例：- 季節、時間、場所はどこですか？

- 何をして楽しんでいますか？

- 何と何をしていますか？

- 何と何をしていますか？

このように絵本の内容を読みながら、想像することを聞いてあげてください

1歳半の子供に読んであげよう

(人々の想像を促している、どうなるか、想像しだすのを促す)

● お子さんの想像をたくさん褒めてあげてください

これは、あるフェスティバルの様子です。

★あなたは、この絵の中に何を見ましたか？

- 僕だけかごを動かしている赤いお人 - 走っている猫
- 走っている男の子 - 遊んでいる男の人 - 泣いている女の子
- 走っている犬 - 人ごみ - 風船を飛ばしている人 - 船 - 花車

内容の一例<3・4才対象>



★ この絵の場合、子供にこんな質問ができればと思います ★

- 場所、天気、季節→どこですか？ 何？ 何？
- ペンキの靴のお人は何をしています？→何ですか？ 何？ 何？
- 泣き止む人の表情は？→何ですか？ 何？ 何？
- ホンダの靴子の男の子は何をしていますの？→何ですか？ 何？ 何？

子供は絵の中に色々なものを見出し、質問に対して答えは1人1人違うことでしょう。このように見出したこと、想像したことからお子さんが、親子で対話することで考えるという習慣になると思います。

人の想像力が想像力であることからフェスティバルの絵を描く時、そこで人の想像力や想像力のある人々の想像力を想像してお父さんのお見と想像力のある絵が描かれた！この絵本を想像力の中で想像して描くようにしたいです。

まとめ

じゃあ、どうやって伝える??

私たち高校生がボランティアとして保育園や幼稚園に訪問し、子供達だけでなくお母さんやお父さん方にも参加していただき、この絵本の重要性や使い方を伝えます。

→ 高校生のボランティアは私たちから友達へ、友達からどのまた友達へとたくさんの人に賛同してもらってどんどん広がっています。



ある文献によると「幼いときに感受した事柄を分析的にとらえ、それを自由に言葉で表現する経験をたくさんした子供は自分の感じ方・受け止め方に自信が持てるようになる」と述べています。

また「絵は感受性を育てるのにとても良く、感受性は目、そして耳から入ってきた刺激を受けて心が動かされたときに育つ」と述べられています。

つまり、絵本は上手に用いれば深く考える力が付くということにつなげることが分かりました。

私たちが考えた絵本が高校生のボランティア活動を通して、多くの保護者や子供たちに広がり、理解を得ることで子供たちがこの絵本で学び成長し、自分の考えをしっかりと持つことで、あらゆる情報の中から正しいと思うものを選んで日々生活してくれる事を私たちは望んでいます。

信じちゃってカワイイよよ……

